

## 概要

本機は、テレビドアホン※<sup>1</sup>に増設（登録）して使用するセンサーライト付き屋外専用のワイヤレスカメラ（カメラ）です。本機のセンサー（動作検知と人感（熱）センサー）が不審者等を検知し反応すると、登録したドアホン親機、子機に呼出音と映像で知らせます。また、センサー反応時、カメラ周辺の明るさに合わせて本機のLEDライト（威嚇用）が自動点灯するなどの機能を備えています。

※<sup>1</sup> 2017年1月発売時、接続できる機器

〈302/303 シリーズ〉

VL-SVD302KL/SWD302KL/SVD303KL/SWD303KL

〈501 シリーズ〉

VL-SVD501KL/SWD501KL/SVD501KS/SWD501KS

〈705 シリーズ〉

VL-SVH705KL/SWH705KL/SVH705KS/SWH705KS

## 特長・機能

### (1) センサー検知機能

センサーは動きの変化を検知して反応する「動作検知」と、温度変化を検知して反応する「人感（熱）センサー」の2種類を搭載しています。本機のセンサーが不審者等を検知すると、ドアホン親機と子機に呼出音と映像でお知らせします。

### (2) モニター機能

カメラ周辺の様子を映像と音でドアホン親機と子機で確認できます。モニター中に必要に応じて、通話ボタンを押すとカメラ側の相手に呼びかけたり、相手との通話ができます。またお知らせ音※<sup>2</sup>を鳴らすことができます。

### (3) カメラの増設（登録）

本機はドアホン親機に4台まで増設（登録）可能です。ワイヤレスのため、テレビドアホンとの配線は不要です。

### (4) SDカードへ録画可能

カメラ映像はドアホン親機に挿入されたSDカード（別売）に録画します。

センサー検知時のカメラ映像を最大約30秒の音声付き動画で自動録画します。必要に応じてモニター映像を手動で録画することも可能です。

### (5) スマートフォンの連携

705シリーズにスマートフォンを連携させると外出先でカメラ映像やカメラ周辺の音を確認できます。また、カメラのセンサー検知をスマートフォンで確認して、映像を見ながらカメラ側の相手に話しかけることもできます。

### (6) その他の機能・特長

- センサー検知について  
302/303/501シリーズ接続時はモニターによりドアホン親機や子機に映像を表示している間や、映像表示終了後から約10秒間（可変）は、検知を行いません。モニターによりドアホン親機や子機に映像を表示している間でも、センサー検知後約10秒経過すれば再検知を行います。705シリーズ接続時はセンサー検知から約35秒間および映像表示終了後から約10秒間は検知を行いません。モニターによりドアホン親機や子機で映像を表示中に、検知した場合にはカメラ映像をドアホン親機のSDカードに録画します。
- センサー反応音について  
センサーが検知したときにカメラ側で鳴る音です。音量や音の種類、音を鳴らさないようにするなどの設定ができます。
- お知らせ音※<sup>2</sup>について  
センサー検知による着信中やモニター中など、室内でカメラ映像を見ているときに、ドアホン親機や子機の操作で、カメラ側に鳴らすことができます。音の種類や音量は変更が可能です。
- LEDライトについて  
暗いときにセンサー検知やモニターを行うと、LEDライトが自動点灯します。（威嚇用のため照明用の光量はありません）  
※ライトの点灯は設定で変更できます。

※<sup>2</sup> 302/303/501シリーズに接続したときの機能です。

## 概要／特長・機能

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

## センサー検知による撮影について

### テレビドアホン「302/303/501 シリーズ」に接続したとき

「検知前録画」の設定に従って、次のように静止画（連続画像）で撮影します。

「検知前録画」 の設定内容	撮影映像（静止画）					
	1 枚目※1	2 枚目※1	3 枚目※1	4 枚目※1	5 枚目	6 枚目以降
1 秒前から 録画（初期値）	検知の 約 1 秒前	検知直後	検知の 約 2 秒後	検知の 約 3 秒後	検知の 約 5～6 秒後	5 枚目を 撮影後、 約 1 秒おき
2 秒前から録画	検知の 約 2 秒前					

親機側のモニター画面では、この連続画像を次々に更新しながら表示します。（動画ではありません）

※1の撮影イメージは下記お知らせをご参照ください。

### テレビドアホン「705 シリーズ」に接続したとき

「カメラ解像度」の設定に従って、次のように撮影します。

#### ■カメラ解像度の設定が「640 × 480（画質優先）」の場合

検知の約 3 秒後からの映像を動画で撮影します。（録画時はカメラ側の音声も録音します）

#### ■カメラ解像度の設定が「320 × 240（速度優先）」の場合（初期値）

「検知前録画」の設定に従って、静止画 + 動画で撮影します。

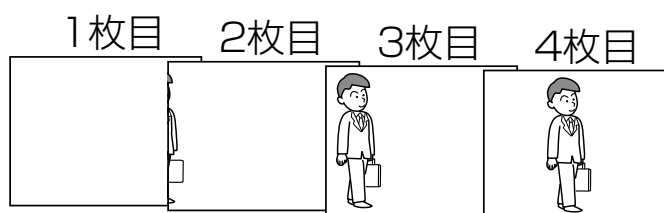
「検知前録画」 の設定内容	撮影する映像				
	静止画 (1 枚目※1)	静止画 (2 枚目※1)	静止画 (3 枚目※1)	静止画 (4 枚目※1)	動画
1 秒前から 録画（初期値）	検知の 約 1 秒前	検知直後	検知の 約 2 秒後	検知の 約 3 秒後	検知の 約 5～6 秒後 以降
2 秒前から録画	検知の 約 2 秒前				

録画時は、動画の撮影と同時にカメラ側の音声も録音します。

※1の撮影イメージは下記お知らせをご参照ください。

#### <お知らせ>

- 静止画（1 枚目～4 枚目）の撮影イメージは下図の通りです。  
次のような場合、1 枚目（検知前画像）に人が映ることがあります。
  - カメラのすぐ前を人が通過したとき
  - カメラの前を早いスピードで人が通過しとき
  - 周囲温度の影響により、撮影範囲内で人感（熱）センサーが反応したとき



- 接続した親機にかかわらず、カメラの周囲が暗いときは、被写体の映像がぶれる場合があります。

## センサー検知による撮影について

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

## 《使用上のお願い》

### ● 正しくお使いいただくために

- レンズカバーや人感（熱）センサーにキズや汚れをつけないでください。  
（きれいに撮影できなくなったり、正しく検知できなくなったり、変形や故障の原因になります）
- 直射日光やハロゲン光などの高輝度の被写体を、長時間映さないでください。（撮像素子が破損する原因になります）

### ● 電波について

- **本機は、1,895.616 ~ 1,902.528 MHz の帯域を使用する無線設備です。**

本機には、1.9 GHz 帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されています。（一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠）

1.9-D

- **J-DECT ロゴは、DECT Forum の商標です。**

J-DECT のロゴは ARIB STD-T101 に準拠した 1.9 GHz 帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

**J-DECT**

- **本機の使用周波数に関わるご注意**

本機の使用周波数帯では、PHS の無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、ファックス・電話機・ドアホンご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相相談ください。
2. その他、何かお困りのことが起きたときは、ファックス・電話機・ドアホンご相談窓口へお問い合わせください。

### ● プライバシー・肖像権について

- カメラの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

### ● 電源プラグを差し込む位置は…

電源プラグは、カメラの設置場所の近くで抜きやすい場所にある屋外コンセントに差し込み、異常が起きた場合にコンセントからすぐに抜けるようにしておいてください。

### ● 通信の傍受について

本機はデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。

### ● LED ライトについて

LED ライトはセンサー検知時の威嚇用です。人などの動きを検知すると LED ライトが点灯しますが、照明用として十分な光量はありません。（光量の詳細は P.27 「仕様」欄を参照）

### ● カメラの画質について

- テレビドアホンの玄関子機（ドアホン）より画質が劣ります。また、次のような場合があります。
  - 色合いが、実際の色と異なる
  - 逆光のとき、人の顔が暗くなる
  - 暗い場所で画質が低下する
  - 外灯を映すと、周りがかすんだようになる
- 次のような場合は、人の顔が識別しにくくなります。
  - 昼間など明るいときでも、カメラから約 3 m 以上離れたとき  
（日陰・逆光・撮影角度など、撮影環境によっては 3 m 以内でも識別しにくくなる場合があります）
  - 夕方や夜間など、カメラの周囲が暗いとき
  - 動いている人の撮影（映像がぶれます）

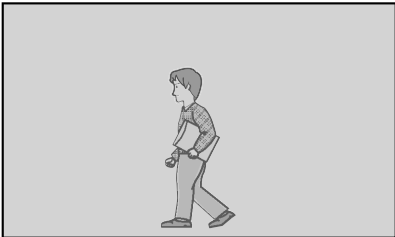
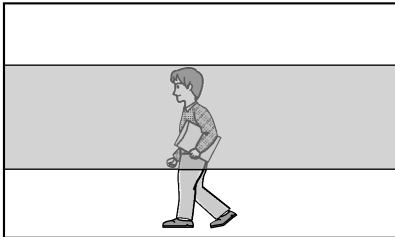
## センサー検知による撮影について

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

## センサーについて（動作検知と人感（熱）センサー）

本機には、「動作検知」と「人感（熱）センサー」の2つのセンサーがあります。特性を理解したうえで、適切な場所に設置してください。

### ■ センサーの特性と検知範囲について

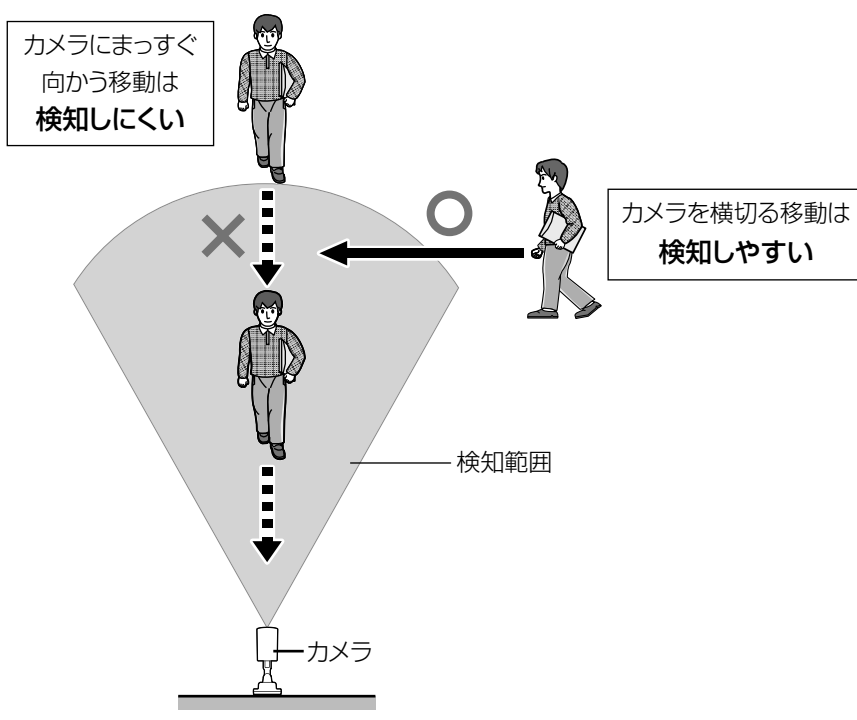
	動作検知	人感（熱）センサー
検知方法	撮影範囲内の、動きの変化を検知 ● 動体の輝度変化によって検知します。	撮影範囲内の、温度変化を検知 ● 人や動物など、温度をもつものから自然に放射されている赤外線による温度変化を検知します。
主な特性	昼間、または明るい場所では検知しやすい ● 動いている被写体と背景の色が似ているときは、動作を正しく検知しない場合があります。 ● 外部照明の点灯時など、全体的に明るさが急変する場合は、誤って動作検知することがあります。	夜間や冬場など外気温が低いときは、被写体と外気温の差が大きくなり、検知しやすい ● 昼間や夏場など外気温が体温に近くなると、検知しにくくなります。 ● 車のマフラーやボンネットなど、外気温との差が大きいものにも反応するため、撮影方向に道路がある場合は、通行している車に反応することがあります。
検知範囲	撮影範囲全体  ● 検知する範囲を絞り込むこともできます。 →本書 (P.24) 「動作検知の検知範囲設定を変える」	撮影範囲の一部（中央の網掛け部）  ● 検知する範囲を変更することもできます。 →本書 (P.21-23) 「人感センサーの角度を変える」「センサー範囲調整キャップを使う」（周囲温度の影響で検知範囲が変動します。）

### センサーについて（動作検知と人感（熱）センサー）

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

### 動作検知・人感（熱）センサー共通

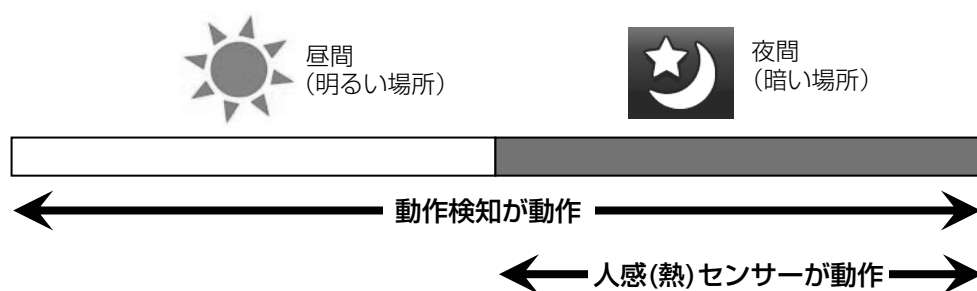
検知しやすい／検知しにくい向き



- 動作検知、人感（熱）センサーは、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。常に高い信頼性を求められる監視などの用途には、動作検知、人感（熱）センサーを使わないことをお勧めします。
- センサーを使うことによって生じた事故などの結果について、当社はその責任を負えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

### ■ センサーの検知時間帯について

お買い上げ時の設定の場合、本機のセンサーは、明るさの変化によって下記のように動作します。



- 明るさの判断は、映像の明るさに応じてカメラが自動で行います。
- 設置環境などに応じて、各センサーを動作させる時間帯を変更することもできます。設定方法は、接続してご使用になるドアホン親機の説明書をお読みください。

センサーについて(動作検知と人感(熱)センサー)	
品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

## 機能の設定、変更について

### テレビドアホン「302/303/501 シリーズ」接続時

「センサー設定」「画面設定」「音の設定」「その他の設定」の4項目に分類されています。機能一覧表で変更したい機能を事前にご確認のうえ、設定してください。

- 記載した機能一覧表は、テレビドアホン「501 シリーズ」に接続した場合のもので、「302/303 シリーズ」に接続時は機能の表示順が異なります。

#### 設定のしかた<sup>\*1</sup> (例：テレビドアホン「501 シリーズ」)

ドアホン親機のトップメニューから次の手順で設定します。

- ① [設定 / 情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] → 設定するカメラ番号を選ぶ
- ② 設定する項目・機能の順に選び、設定内容を変更する

※ 1 設定方法は親機によって異なります。ご使用のテレビドアホンの説明書をお読みください。

「センサー設定」の機能一覧：カメラ1～4ごとの個別設定（設定変更は1台ずつ必要）		
機能	設定内容など	初期値
センサー選択	人感センサーのみ、人感センサー+動作検知、外部センサーのみ、人感+外部センサー+動作検知、OFF(センサー反応しない) ● 使用するセンサーを選びます。	人感センサー+動作検知
人感センサー検知モード	夜間のみ、常時 ● 人感(熱)センサーの検知時間帯を選びます。「夜間のみ」を選ぶと、下記の「昼夜切り替え」設定に従って人感(熱)センサーが動作します。	夜間のみ
動作検知モード	昼間のみ、常時 ● 動作検知の検知時間帯を選びます。「昼間のみ」を選ぶと、下記の「昼夜切り替え」設定に従って動作検知が動作します。	常時
昼夜切り替え	自動、タイマー ● 昼夜の切り替えを次のどちらにするか選びます。 「自動」：周囲の明るさによって、カメラが自動的に切り替える 「タイマー」：夜間の時間帯を設定し、任意のタイマーで切り替える ● 上記の「人感センサー検知モード」や「動作検知モード」を「夜間のみ」や「昼間のみ」に設定したときに有効です。	自動
映像終了後の無検知時間	10秒、30秒、60秒 ● センサー検知やモニターによる映像表示終了後、次にセンサー検知できるようになるまでの時間を選びます。頻繁にセンサーを反応させたくないときは、より長い時間を選びます。	10秒
人感センサー感度	高感度、標準、低感度、超低感度、検知しない ● 検知しにくいときは「高感度」、検知しすぎるときは「低感度」「超低感度」を選びます。	標準
動作検知感度	高感度、標準、低感度、超低感度 ● 検知範囲内の小さな動きの変化も検知したいときは「高感度」、過度に検知したくないときは「低感度」「超低感度」を選びます。	標準
動作検知範囲	<p>● お買い上げ時は撮影範囲内のすべての動作を検知します。検知させたくない場所があるときは、検知範囲設定画面で、その場所を「×」にしてください。(下は501シリーズの設定例)</p>  <p>カメラ1/センサー設定/動作検知範囲 動作を検知しない場所をタッチで設定してください</p> <p>〈設定のしかた〉 ① 検知させたくないエリアをタッチして「×」にする(再度タッチすると「×」が消えます。) ② 「設定する」をタッチする</p>	すべて検知
検知前録画	1秒前から録画、2秒前から録画 ● センサー検知時の録画で、検知の約1秒前から録画するか約2秒前から録画するかを選びます。	1秒前から録画

## 機能の設定、変更について

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

「センサー設定」の機能一覧：カメラ1～4ごとの個別設定（設定変更は1台ずつ必要）

機能	設定内容など	初期値
センサー確認	人感センサー、動作検知、外部センサー ●各センサーの検知状況を個別に確認できます。カメラの設置時など、設置環境下で各センサーが適切に反応するかを確認してください。（確認方法の詳細は施工説明書を参照）	—
録画のテスト※1	●この機能を使うと、ドアホン親機にSDカードが挿入されていないときでも録画の確認ができます。画面の表示に従って操作を行い、センサー検知の際に検知前後の映像が適切に録画できているかを確認してください。	—
外部センサー接点	A接点（メーク）、B接点（ブレーク） ●接続する外部センサー（市販品）に合わせて種別を選びます。（接続できる外部センサーは施工説明書参照）	A接点（メーク）

「画面設定」の機能一覧：カメラ1～4ごとの個別設定（設定変更は1台ずつ必要）

機能	設定内容など	初期値
明るさ	-3、-2、-1、0、+1、+2、+3 （映像が暗くなる） （映像が明るくなる）	0
逆光補正	ON、OFF ●被写体の顔が暗くて見えにくいときに「ON」を選びます。	OFF
照明自動点灯	センサー反応時：する、する（暗いときのみ）、しない モニター時：する、する（暗いときのみ）、しない ●カメラのLEDライトを自動点灯させる条件を選びます。	する （暗いときのみ）
色ムラ防止	ON、OFF ●通常は「OFF」で使用し、カメラ映像に色ムラが出る場合のみ「ON」にしてください。（「ON」の場合、暗い場所では画質が低下することがあります）	OFF

「音の設定」の機能一覧：カメラ1～4ごとの個別設定（設定変更は1台ずつ必要）

機能	設定内容など	初期値
センサー反応音	●センサー検知時にカメラから出る音の種類や音量を選びます。	
音の種類	ピポピポピポ、ピロリロピロリロピロリロ、ポウポウポウポウ	ピポピポピポ
音量	大、中、小、切	中
お知らせ音	●カメラをモニター中など、ドアホン親機や子機から手でカメラ側に鳴らす音の種類や音量を選びます。	
音の種類	ピポピポピポ、ピロリロピロリロピロリロ、ポウポウポウポウ	ピポピポピポ
音量	大、中、小	大
送話音量	大、中、小 ●ドアホン親機や子機からカメラ側に呼びかける際に、カメラのスピーカーから出る音声の大きさを選びます。	中
カメラマイク感度	高、中、低 ●カメラのマイクが音声を集音しすぎるときは「中」または「低」を選びます。	高

「その他の設定」の機能一覧：カメラ1～4ごとの個別設定（設定変更は1台ずつ必要）

機能	設定内容など	初期値
状態表示ランプ	常時、通信時、消灯 ●状態表示ランプの点灯のしかたを選びます。 「通信時」を選ぶと、センサー検知やカメラモニターなどで、カメラとドアホン親機が通信しているときのみランプが点灯します。	常時
カメラ検知履歴※1	●センサー検知の履歴を表示します。（最新情報を24件まで）履歴画面では、検知した日時とセンサー名（人感センサー/動作検知/外部センサー）を確認できます。	—
設定の初期化	●カメラの設定をお買い上げ時の状態に戻します。（初期化をしてもドアホン親機には登録されたままです。登録情報は消えません）	—

※1 「302/303シリーズ」に接続時は表示されません

機能の設定、変更について

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

## カメラの機能設定一覧（テレビドアホン「705シリーズ」接続時）


複数のカメラ（1～4）に対する共通設定と、カメラ（1～4）ごとの個別設定があります。  
機能一覧表で変更したい機能をご確認のうえ、設定してください。

### 設定のしかた（例：テレビドアホン「705シリーズ」）

ドアホン親機のトップメニューから次の手順で設定します。

- ① [設定 / 情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] → [ワイヤレスカメラ] を選ぶ
- ② 設定する機能に応じて、[共通設定] または設定するカメラ番号（カメラ 1～4）を選ぶ
- ③ 設定する機能を選び、設定内容を変更する

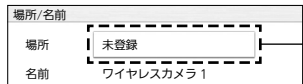
「共通設定」の機能一覧：すべてのワイヤレスカメラに適用される共通設定		
機能	設定内容など	初期値
カメラ解像度	640 × 480(画質優先)、320 × 240(速度優先) ● カメラ映像の画質を選びます。 「640 × 480(画質優先)」に設定すると、検知の約 3 秒後から撮影し、最大 3 コマ / 秒で映像を更新します。(検知前の映像は録画できません) 「320 × 240(速度優先)」に設定すると、検知の約 1 秒(または 2 秒)前から撮影し、最大 6 コマ / 秒で映像を更新します。	320 × 240 (速度優先)
ちらつき防止設定	東日本 (50 Hz)、西日本 (60 Hz) ● カメラ映像のノイズ軽減のため、お使いの地域に合わせて選んでください。	東日本 (50 Hz)

「カメラ 1～4」の機能一覧：カメラ 1～4 ごとの個別設定（設定変更は 1 台ずつ必要）		
機能	設定内容など	初期値
センサー反応音	● センサー検知時にカメラから出る音の種類や音量を選びます。	
音の種類	ピポピポピポ、ピロリロピロリロピロリロ、ポウポウポウポウ	ピポピポピポ
音量	大、中、小、切	中
人感センサー感度	高感度、標準、低感度、超低感度、OFF(検知しない) ● 検知しにくいときは「高感度」、検知しすぎるときは「低感度」や「超低感度」を選びます。	標準
動作検知感度	高感度、標準、低感度、超低感度、OFF(検知しない) ● 検知範囲内の小さな動きの変化も検知したいときは「高感度」、過度に検知したくないときは「低感度」「超低感度」を選びます。	標準
動作検知範囲	お買い上げ時は撮影範囲内のすべての動作を検知します。検知させたくない場所があるときは、下記の画面で設定を行います。  <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <p>〈設定のしかた〉</p> <p>① 検知したくない場所をタッチして「×」にする (再度タッチすると「×」が消える)</p> <p>② [設定する] をタッチする</p> </div> </div>	—

### 機能の設定、変更について

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ



「カメラ1～4」の機能一覧：カメラ1～4ごとの個別設定（設定変更は1台ずつ必要）		
機能	設定内容など	初期値
外部センサー	A 接点（メーク）、B 接点（ブレーク）、なし ● 外部センサー（市販品）を接続して使うとき、接続する外部センサーに合わせて種別を選びます。（接続できる外部センサーは施工説明書参照）	なし
検知タイマー	人感センサー：自動、常時、タイマー 動作検知：常時、タイマー ● 検知する時間帯をセンサーごとに設定できます。 「自動」：夜間など周囲が暗いときだけ検知（明るさはカメラが自動で判定） 「タイマー」：タイマー設定した時間帯だけ検知	人感センサー： 自動 動作検知： 常時
検知前録画	1 秒前から録画、2 秒前から録画 ● センサー検知時の録画で、検知の約 1 秒前から録画するか約 2 秒前から録画するかを選びます。（P.8「カメラ解像度」の設定を「320×240（速度優先）」にしたときのみ有効）	1 秒前から録画
センサー確認	人感センサー、動作検知、外部センサー ● 各センサーの検知状況を個別に確認できます。カメラの設置時など、設置環境下で各センサーが適切に反応するかを確認してください。（確認方法の詳細は施工説明書を参照）	—
明るさ	（映像が暗くなる）- 2、- 1、0、+ 1、+ 2（映像が明るくなる）	0
逆光補正	ON、OFF ● 被写体の顔が暗くて見えにくいときに「ON」を選びます。	OFF
照明自動点灯	センサー反応時：する、する（暗いときのみ）、しない モニター時：する、する（暗いときのみ）、しない ● カメラの LED ライトを自動点灯させる条件を選びます。	する （暗いときのみ）
カメラマイク感度	高、中、低 ● カメラのマイクが音声を集音しすぎるときは「中」または「低」を選びます。	高
場所 / 名前	（例）  場所：リビング、ダイニング、キッチン、和室、洋室、書斎、寝室、子供部屋、浴室、洗面所、トイレ、納戸、物置、ロフト、屋根裏、地下室、廊下、階段、1 階、2 階、3 階、玄関、勝手口、庭、ガレージ、事務所、倉庫、登録しない ● 設置場所に応じた場所名を設定できます。 名前の欄には登録時のカメラ番号が表示されます。（テレビドアホンと連携したスマートフォンでカメラに名前を付けると、その名前を表示します） 場所名や名前は、警戒モード中にカメラが反応したときなどに、ドアホン親機や子機の通知画面に表示されます。	—
状態表示ランプ	ON、OFF ● 状態表示ランプを点灯させるかどうかを選びます。	ON

#### ■705 シリーズに接続時のセンサー検知について

次の時間は無検知となります。（無検知時間は固定です）

- センサー検知後またはモニター開始後の約 35 秒間
- 検知やモニターによる映像表示終了後の約 10 秒間

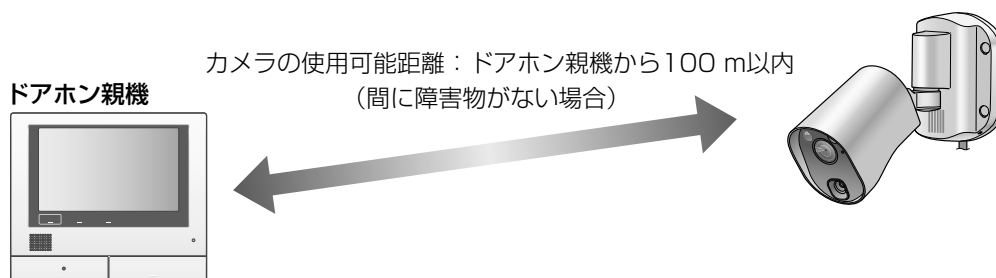
#### 機能の設定、変更について

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

## 設置上のお願い

### 設置の前に

本機は、ドアホン親機と無線で通信を行います。  
下記をよくお読みのうえ、電波が安定して届く場所に設置してください。



### ■ ドアホン親機・カメラ間の通信について

距離が離れていたり、100 m以内でも間に次のような障害物などがあると、電波が弱くなります。

- 金属製のドアや雨戸
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- コンクリートやトタン製の壁
- 複層ガラスの窓
- 壁を何枚もへだてたところ
- 各機器を、それぞれ別の階や家屋などで使うとき

このような場合、カメラ映像を表示する機器で映像の乱れや更新の遅れが起きたり、音声の途切れが起きたりして、使えないことがあります。(このときカメラ側では、状態表示ランプが赤点灯または赤点滅します。

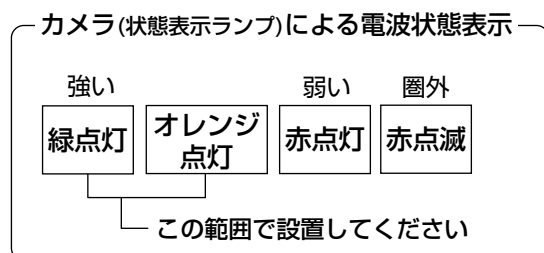
下記「カメラ(状態表示ランプ)による電波状態表示」参照)

- 上記のような場合、ドアホン親機とカメラの間に別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。詳細はご使用のテレビドアホンの説明書をお読みください。

### ■ 設置場所の電波状態を確認するには

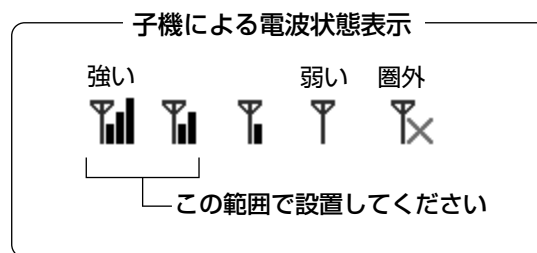
#### ● カメラを使って確認する

カメラをドアホン親機に登録すると、カメラの状態表示ランプでドアホン親機からの電波状態を確認できます。



#### ● テレビドアホンの子機を使って確認する

ワイヤレス子機付きのテレビドアホンにカメラを接続した場合、カメラの設置場所に子機を持っていくことで、ドアホン親機との電波状態を確認できます。



### 設置上のお願い(設置の前に)

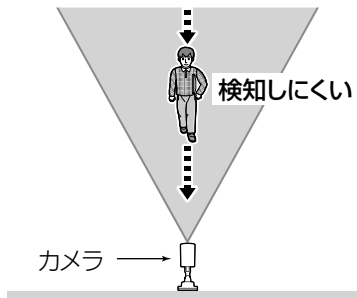
品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

■ **こんなところには設置しない（変形・変色、故障・動作障害などを避けるために…）**

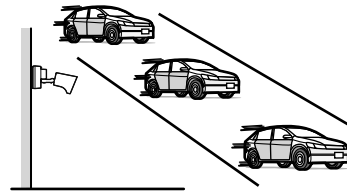
- 長時間、直射日光が当たる場所（特に猛暑日が続く地域）や外灯の真下など（周囲が動作温度内でも局部的に高温になるため、外気温が高い地域は軒下に設置するなどして遮光してください）
- 振動・衝撃や、反響の多い場所
- 火気・熱器具や、磁石などの磁気の近く
- 冷・暖房機（室外機を含む）の近く
- 油汚れがついたり、蒸気がかかる場所
- 携帯電話など強い電波を発する製品の近く
- 温度変化が激しい場所（結露しやすくなります。）
- 海岸の近くや直接潮風が当たる場所、温泉地の硫黄環境（塩害などにより製品寿命が短くなることがあります。）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器リモコン（インターホン機能付き）、ホームセキュリティ関連装置の近く（ノイズ発生の原因）
- CSデジタル放送受信機器（チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど）の近く（CSデジタル放送の画像が乱れる原因）
- 硫化水素、アンモニア、ほこり、有毒ガスなどの発生する場所

《次の場所は、特に誤検知の原因になります》

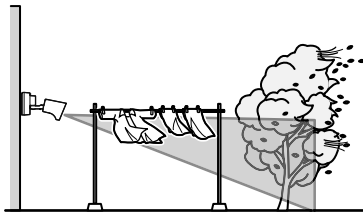
- 狭い通路などで、真正面から人物が近づいてくるような場所



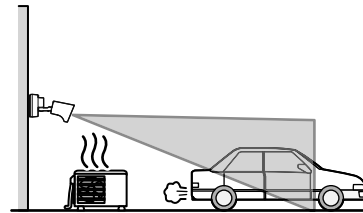
- 車の交通量が多い道路がある場所（約5m以上離れていても、車にはセンサーが反応します。）



- 風などで動くような植木、洗濯物などがある場所（温度や動きの変化による誤検知）

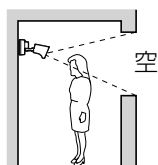


- 換気扇、エアコンの室外機、給湯器などの風や車の排気ガスなどの影響を受ける場所（急激な温度変化による誤検知）

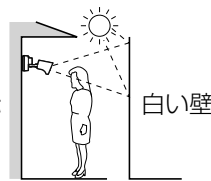


- 強風の吹く場所（カメラが風で振動するため、誤って動作検知することがあります。）
- 前方にガラスなど、温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物がある場所
- 明るさが変わりやすい場所（昼間でも木陰などで影になる、夜でも外灯で明るくなるなど）
- 下記のように逆光になる場所（人の顔が暗く映り、識別しにくくなります。）

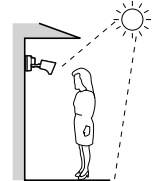
マンションの階上など、背景に空の占める割合の大きい場所



正面に、直射日光が反射する白壁がある場所



直射日光が当たるような、明るい場所

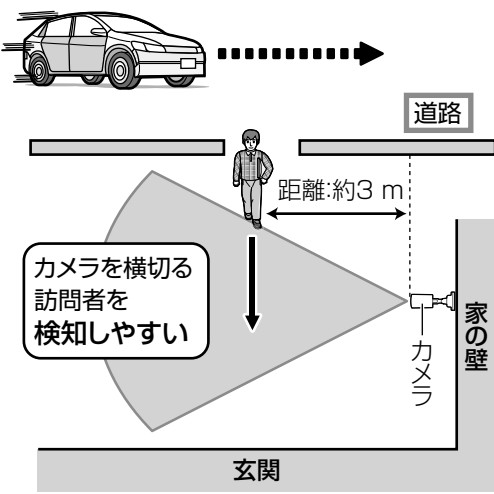
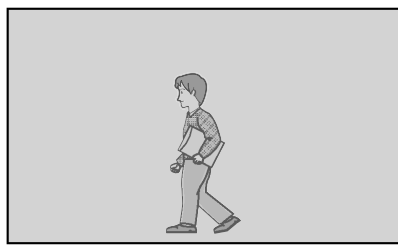
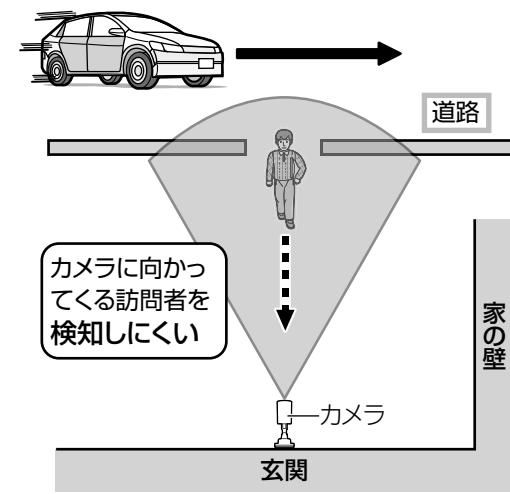
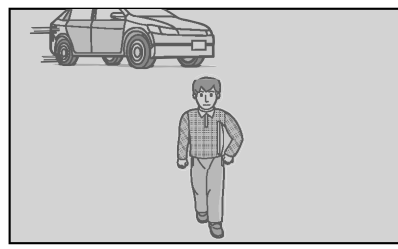


設置上のお願い(設置の前に)

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

## 設置例①（住戸への訪問者の検知）

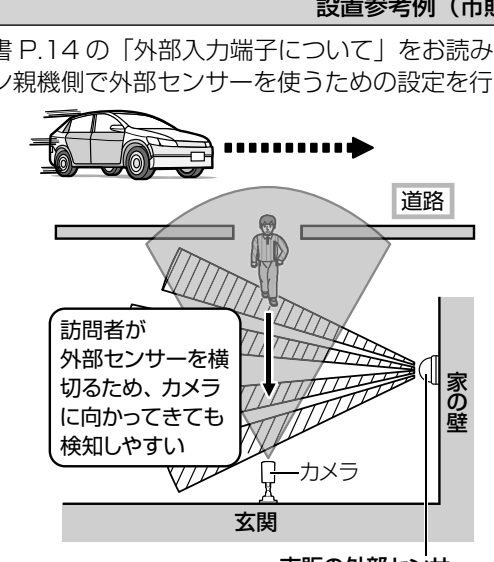

（車道の車などは検知させず、玄関口（門）からの訪問者を検知したいとき）

良い例	悪い例
 <p>カメラを横切る訪問者を検知しやすい</p> <p>距離:約3 m</p> <p>家の壁</p> <p>カメラ</p> <p>玄関</p> <p>道路</p> <p>〈撮影イメージ〉</p>  <p>訪問者は横向きに映りやすくなりますが、車道の車は誤検知しにくくなります。</p>	 <p>カメラに向かってくる訪問者を検知しにくい</p> <p>家の壁</p> <p>カメラ</p> <p>玄関</p> <p>道路</p> <p>〈撮影イメージ〉</p>  <p>撮影方向にある道路を通る車を誤検知しやすくなります。</p>

訪問者を検知し、さらに正面から撮影したいときは、下記のように、市販の外部センサーをご使用ください。

**設置参考例（市販の外部センサーを使用する）**

本書 P.14 の「外部入力端子について」をお読みのうえ、端子の仕様に適応した外部センサーを接続し、ドアホン親機側で外部センサーを使うための設定を行ってください。

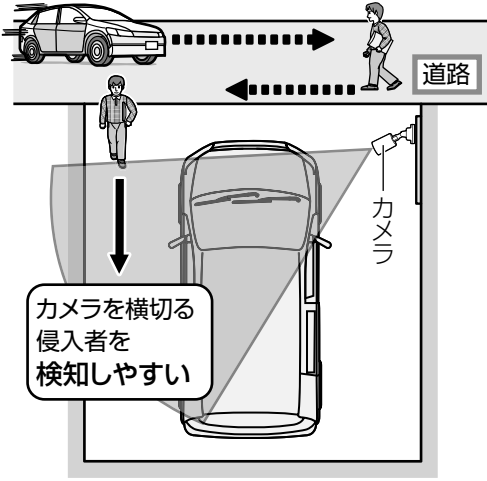
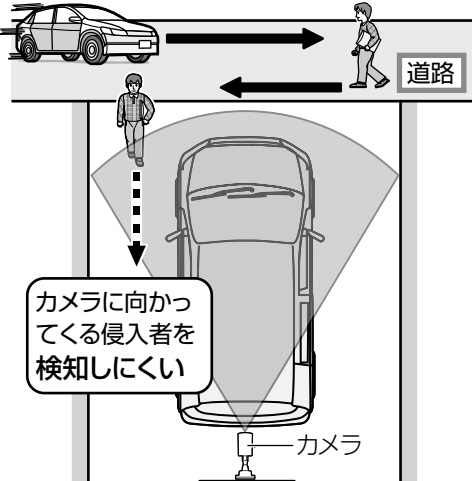
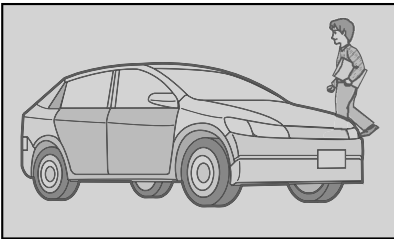
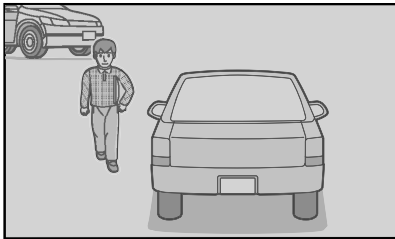
 <p>訪問者が外部センサーを横切るため、カメラに向かってきても検知しやすい</p> <p>家の壁</p> <p>カメラ</p> <p>玄関</p> <p>道路</p> <p>市販の外部センサー</p>	<p>〈撮影イメージ〉</p>  <p>左の設置例では、カメラ内蔵の人感（熱）センサーによる検知を無効にすると、道路側の車を誤検知しにくくなります。</p>
--	--

### 設置上のお願い（設置例①（住戸への訪問者の検知））

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

## 設置例②（駐車場などへの侵入者の検知）

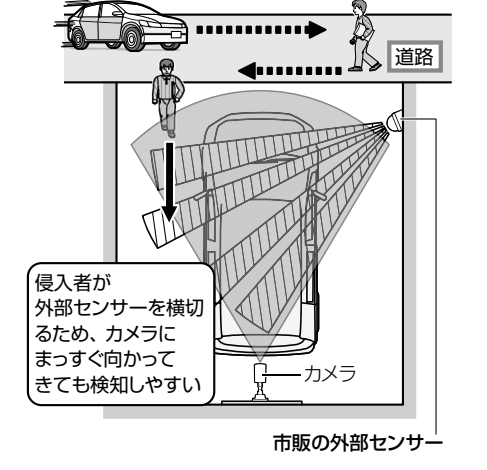
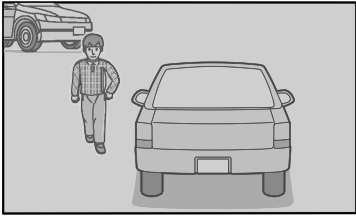
（車道の車は検知させず、駐車場の中に入ってくる人を検知したいとき）

良い例	悪い例
 <p>カメラを横切る侵入者を検知しやすい</p>	 <p>カメラに向かってくる侵入者を検知しにくい</p>
<p>●車高の高い車の場合、侵入者の顔が車に隠れないよう、カメラの設置位置や角度を調整してください</p> <p>〈撮影イメージ〉</p>  <p>侵入者は横向きに移りやすくなりますが、車道の車は誤検知しにくくなります。</p>	<p>〈撮影イメージ〉</p>  <p>撮影方向にある車道の車を誤検知しやすくなります。</p>

侵入者を検知し、さらに正面から撮影したいときは、下記のように、市販の外部センサーをご使用ください。

**設置参考例（市販の外部センサーを使用する）**

本書 P.14 の「外部入力端子について」をお読みのうえ、端子の仕様に適応した外部センサーを接続し、ドアホン親機側で外部センサーを使うための設定を行ってください。

 <p>侵入者が外部センサーを横切るため、カメラにまっすぐ向かってきても検知しやすい</p> <p>市販の外部センサー</p>	<p>〈撮影イメージ〉</p>  <p>左の設置例では、カメラ内蔵の人感（熱）センサーによる検知を無効にすると、道路側の車を誤検知しにくくなります。</p>
--	--

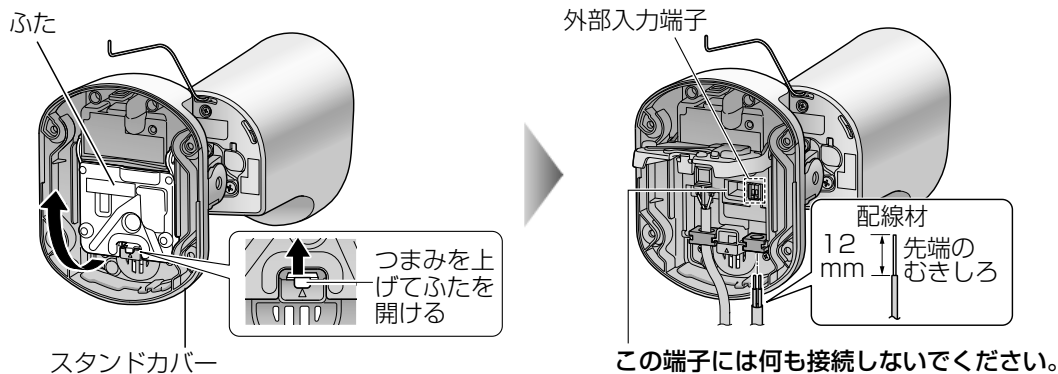
設置上のお願  
（設置例②（駐車場などへの侵入者の検知））

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

## 外部入力端子について

市販の外部センサーを接続するための端子です。(スタンドカバー裏面のふたを開けたところにあります)

- 下記をよくお読みのうえ、端子の仕様に合った機器を接続してください。  
(端子への接続は、電源を切った状態で行ってください)



### 外部入力端子の仕様

端子を短絡(または開放)すると検知します。

- 開放時電圧：約 12.5 V
  - 短絡時電流：約 6 mA (短絡 / 開放 連続 0.1 秒以上で検知)
  - 上記の定格に適応した市販の外部センサーを接続してください。
  - 接続した外部センサーをご使用になるには、ドアホン親機側で次の設定が必要です。
    - テレビドアホン「302/303/501」シリーズの場合
      - ①カメラの「センサー選択」設定で「外部センサー」を有効にする
      - ②カメラの「外部センサー接点」設定で接点種別(A接点/B接点)を設定する
    - テレビドアホン「705」シリーズの場合  
カメラの「外部センサー」設定で接点種別(A接点/B接点)を設定する
- 操作については、接続してご使用になるドアホン親機の説明書をお読みください。

#### 動作確認済みの外部センサー

竹中エンジニアリング(株)製  
品番：MS-100A

AC100 V  
配線が必要

- 設置は、外部センサーに付属の説明書に従い、確実に行ってください。

### 線種と配線距離

下表の線種・配線距離以外で使用されると、動作不良の原因になります。

配線区間	線種	配線距離
外部入力端子～接続機器	単芯線 (mm) : $\phi 0.4 \sim \phi 0.8$	接続する機器の仕様に従う (ただし、20 m 以内)

## 工事について

- 電源について：必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。
  - (1) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置(電源プラグ)に容易に手が届くこと。
  - (2) 3 mm 以上の接点距離を有し、容易にアクセス可能な分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。
- 本機は電気設備技術基準による施工を行ってください。
  - 使用する埋込みボックスに、堅牢な隔壁(電源線とその他の信号配線材の間)を設ける。
  - 金属ボックスを使用する場合は D 種接地を行う。
  - 配線材は AC600 V 以上の絶縁電線を使用する。
- 屋外設置で電源プラグを使用するときは、本機の近くに屋外用の電源コンセントや電源ボックスを設置してください。(電源プラグは防水対応ではありません)  
※電源コンセントや電源ボックスの設置については、配線工事業者へご相談ください。
- 空中配線はしないでください。  
(カメラが雷などの影響を受けることがあります)

設置上のお願  
(外部入力端子について / 工事について)

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

## カメラを登録する

設置の前に、ドアホン親機への登録が必要です。

- 同時に複数のカメラを登録することはできません。1 台ずつ登録してください。
- ドアホン親機側の操作は 705 シリーズの例です。  
その他のテレビドアホンに登録する場合には、ご使用のテレビドアホンの取扱説明書をお読みください。
- テレビドアホン「705 シリーズ」には、LAN 接続の「センサーカメラ」と無線接続の「ワイヤレスカメラ」の 2 種類が登録でき、それぞれ登録方法が異なります。本機は無線接続の「ワイヤレスカメラ」ですので、登録時にお間違えのないようにご注意ください。

### 1 ドアホン親機側で、カメラの登録操作を行う

テレビドアホン「705 シリーズ」の操作例

ドアホン親機のトップメニューから

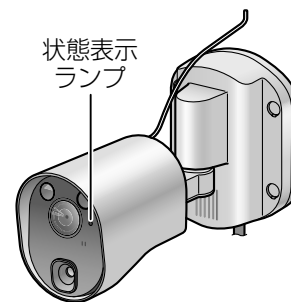
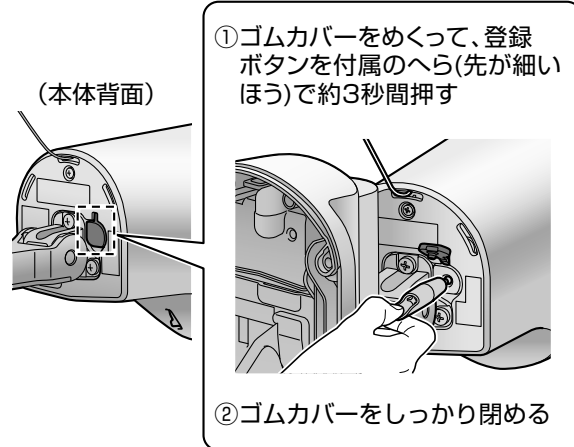
[設定 / 情報] → [設定を変更] → 画面右下の [▼] → [接続機器の登録 / 減設] → [登録] → [カメラ] → [ワイヤレスカメラ] の順にタッチする

続けて、約 5 分以内に下記の操作をする

### 2 カメラの操作〈登録モードにする〉

カメラの電源を入れた状態で、下記のように背面の登録ボタンを押す

- 登録ボタンは、ゴムカバーをめくったところにあります。
- 登録中はカメラの状態表示ランプが緑点滅し、登録が完了すると「ピー」と鳴り、状態表示ランプが点灯に変わります。



### 3 登録完了画面が出たら [了解] をタッチする

## カメラを設置する

- 設置の前に必ず、カメラをドアホン親機に登録してください。
- 天井には、取り付けないでください。
- 雨どいなどから直接水がかかるのを避けて設置してください。
- 壁への穴開け工事について、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 穴を開けた部分には必ず防水処理をしてください。
- カメラ本体に固定されている安全ワイヤーを使用して、必ず落下防止対策を行ってください。
- 取り付け場所のねじ引き抜き強度は、1 本あたり 294N (30kgf) 以上です。(左記の引き抜き強度を確保できない場合には、必ず十分な強度を確保できる補強を行ってください)
- インパクトドライバーは使わないでください。(ねじの破損や締めすぎの原因になります)
- 隣家と近接した場所に設置するときは、LED ライトの光が隣の家に迷惑をかけないようにカメラの角度を調整してください。

外壁材の種類によって、使えるねじや取り付け方が異なります。取り付け前には必ず、外壁材の種類に応じた注意事項(本書(P.19、20))をお読みください。

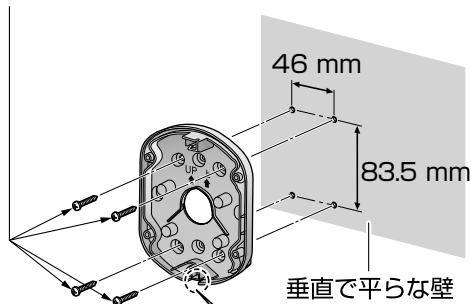
## カメラを登録する / カメラを設置する

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

# 1 外壁材の種類に応じたねじ（4本）を使ってスタンドベースを壁面に取り付け、コーキングする

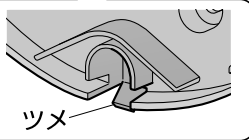
（例）外壁材がサイディングの場合

① 付属のねじA（4 mm × 25 mm、先端が尖ったねじ）4本でしっかり取り付ける※1

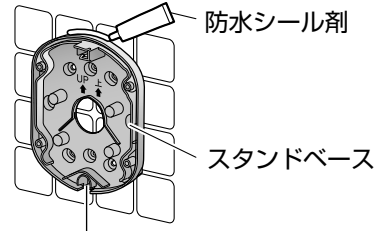


※1 付属のねじB（長さ20 mm、先端が尖っていないねじ）で取り付けしないでください。

電源コードを下側に出すときは、この部分のツメを折る



② 防水シール剤などで下部以外をコーキングする



下部は水抜き穴があるためコーキングしないでください。

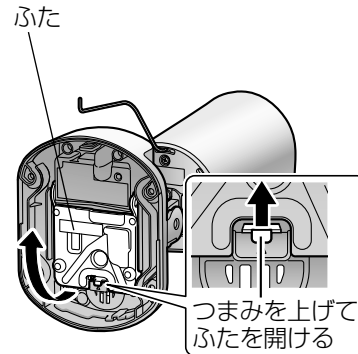
- スタンドベースは「↑上」の表示が上になるように取り付け、上記のようにコーキングして、すきまを埋めてください。  
（上下を逆にしたり、防水が不完全な場合、内部に雨水などが入り、火災・感電の原因になります）

# 2 ■電源線の直結や外部センサーの接続を行う場合 本体のスタンドカバー裏面にあるふたを右のように開けて、

手順 3 へ

■上記以外の場合

手順 5 へ



## カメラを設置する

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ



### 3

## AC100 V 電源線を直結する場合のみ (VL-WD813X は必須)

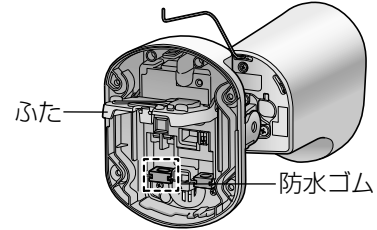
※電気工事士の資格がない方は絶対に作業しないでください

### カメラに電源線を接続する

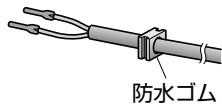
#### <お願い>

直結する電源線には、付属の防水ゴムの取り付けが必要です。  
 (VL-WD813K の場合)  
 付属品の防水ゴムを使います。  
 (VL-WD813X の場合)  
 本体に装着された防水ゴム (右図) を取り外して使います。

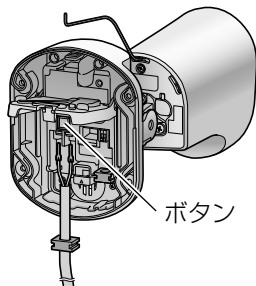
<VL-WD813X の本体背面>



- ①壁から出ている AC100 V 電源線に、  
 付属の防水ゴムを取り付ける

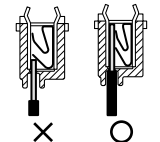


- ②ドライバーの先などでボタンを押しながら  
 付属の電源コードを取り外す (VL-WD813K のみ)



- ③直結する AC100 V 電源線を右のように  
 接続する

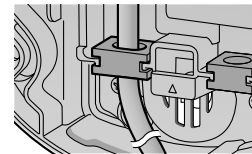
1. 被ふくを 12 mm むく  
 (線種:  $\Phi 1.6 \sim \Phi 2.0$  単芯線)
2. ドライバーの先などでボタンを押しながら、  
 AC100 V 電源線を奥まで確実に差し込む



<AC100 V 電源線  
 接続端子断面図>

**注意**  
 奥まで確実に差し込む  
 差し込みが不完全な  
 場合、発熱の原因に  
 なることがあります。

3. AC100 V 電源線の  
 防水ゴムを、カメラ  
 の溝に取り付ける

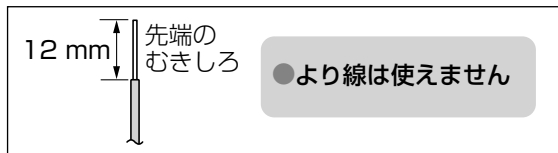


### 外部センサーを接続する場合のみ

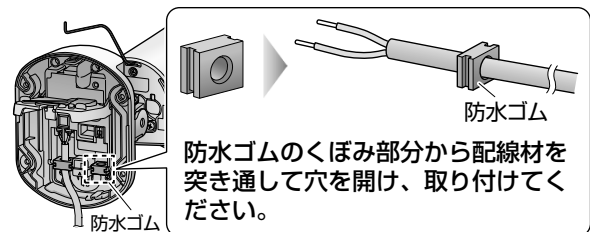
#### 外部入力端子に配線材を接続する

●本書 P.14 の「外部入力端子について」をよくお読みのうえ、正しく接続してください。

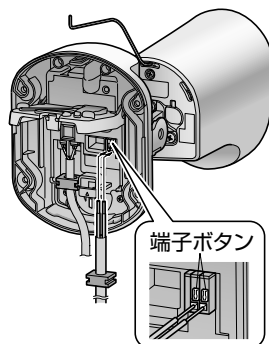
- ①配線材の被ふくをむく



- ②カメラに取り付けられた防水ゴムを取り外し、  
 配線材に取り付ける



- ③配線材を端子に  
 接続し、配線材の  
 防水ゴムを元の  
 位置に取り付ける
- 配線材の抜き差し  
 は、端子のボタンを  
 ドライバーの  
 先などで押しなが  
 ら行ってください。



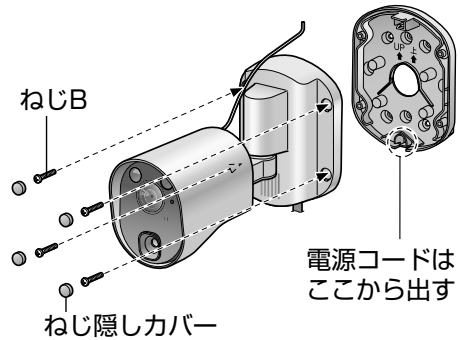
### カメラを設置する

品番	VL-WD813X (電源直結式) / VL-WD813K (電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

#### 4 ふたを閉める (カチッと音がするまでしっかり閉める)

#### 5 カメラをスタンドベースに取り付け、固定する

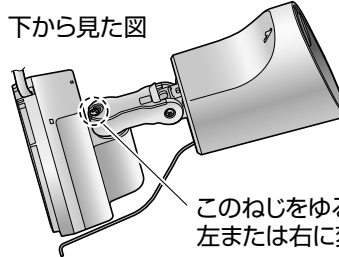
- 付属のねじ B (4 mm × 20 mm、先端が尖ってないねじ) 4 本で取り付けたと、ねじ隠しカバーを取り付けてください。
- 推奨締付トルク  
1.2 N · m (12.2 kgf · cm)
- ねじ A (長さ 25 mm、先端が尖ったねじ) を使わないよう注意してください。



#### ねじを締めるとき

カメラ本体が正面を向いていると、ねじが締めにくくなります。右の要領でカメラ本体を左または右に回転させたあと、ねじを締めてください。

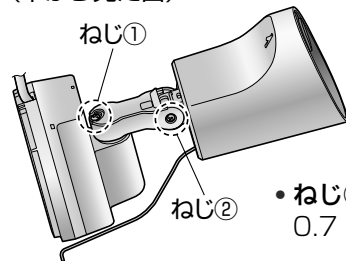
下から見た図



このねじをゆるめてカメラ本体の向きを左または右に変える

#### 6 カメラ本体の角度を調整する

(下から見た図)



● ねじ①②の推奨締付トルク  
0.7 N · m (7.1 kgf · cm)

##### 〈左右の角度調整〉

1. ねじ①をゆるめ、左右の角度を調整する
2. ねじ①を締める

##### 〈上下の角度調整〉

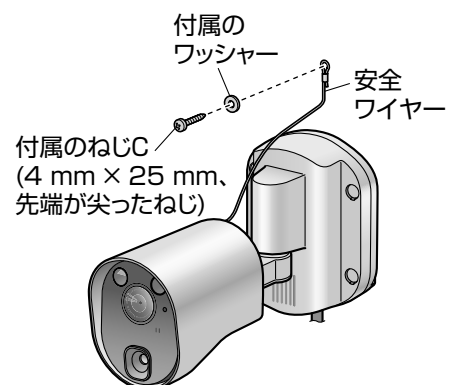
1. カメラ本体を片手で支えながら、ねじ②をゆるめて上下の角度を調整する
2. ねじ②を締める

#### 7 電源を入れてカメラのモニター操作を行い、撮影範囲の映像と音声を確認する

- カメラの電源コード (直結しない時) は屋外用のコンセントに差し込んでください。
- 撮影範囲がずれていた時は、カメラの角度を調整し直してください。
- カメラのモニター操作については、接続してご使用になるドアホン親機の説明書をお読みください。
- ドアホン親機側に本機の映像をモニターできるワイヤレス子機やスマートフォンがある場合は、子機やスマートフォンを使って、カメラの設置場所で映像を確認しながら角度の調整ができます。

#### 8 映像の確認やカメラ角度の微調整が終わったら、安全ワイヤーを壁に取り付ける

- 安全ワイヤーは、たわませた状態で取り付けてください。
- 壁への取り付けについて  
「外壁材の種類に応じた注意事項」を必ずお守りください (本書 (P.19、20) 参照)。
- 万一、カメラが壁から外れた場合に、人に当たらないよう、安全ワイヤーは、なるべく高い場所に取り付けてください。
- カメラにぶらさがったりしないでください。



#### 9 下記の方法で、カメラのセンサー検知動作を確認する

- センサーの検知状況を確認する
- センサー検知時の映像が適切に録画されているかテストを行う
  - 検知時の映像はドアホン親機側の SD カードに自動で録画されるので、録画を再生してご確認ください。(再生方法は接続してご使用になるドアホン親機の説明書をお読みください)

#### カメラを設置する

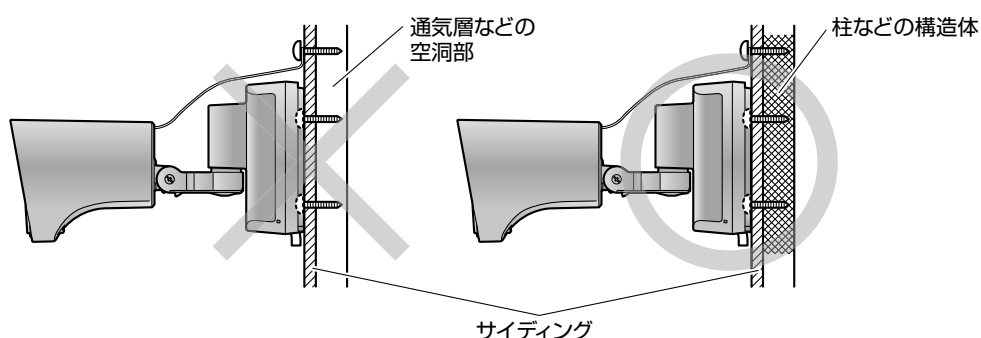
品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

## 外壁材の種類に応じた注意事項

### (1) サイディングの場合

- 付属のねじ A (呼び径 4.0 mm、長さ 25 mm) をお使いください。その際、ねじの引き抜き強度は、必ず 1 本あたり 294N (30kgf) 以上を確保できるように設置してください。
- サイディング外壁だけで重量を支持するとサイディングが損傷するおそれがあります。<sup>※1</sup>必ず、サイディングの内側にある柱などの構造体で支持できる場所に設置してください。<sup>※2</sup>
  - サイディングの厚みなどにより、構造体で支持できない場合は、市販のねじ (呼び径 4.0 mm、長さ 25 mm より長いもの) を使用してください。
- サイディングの材質に適したドリルで下穴を開けてください。下穴を開けたあとは、粉を取り除いてください。

お願い) サイディングの内側の構造体には、下穴を開けないように注意してください。



※ 1 : 悪い例

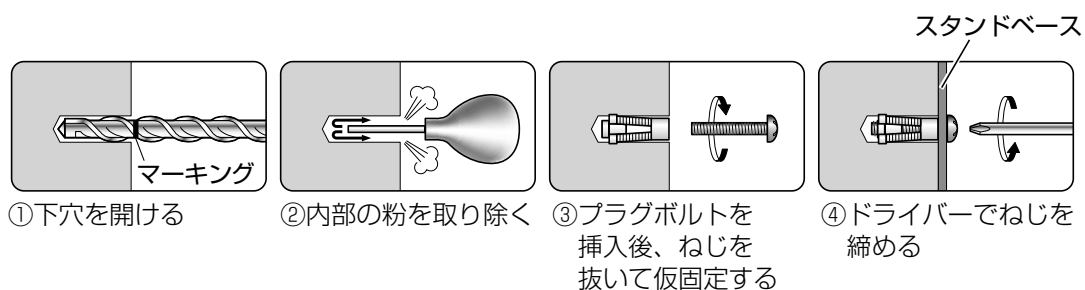
外壁材のみへの取り付けは禁止

※ 2 : 良い例

外壁材と構造体の両方に取り付ける

### (2) コンクリートの場合

- 付属のねじは使えません。市販のコンクリート用プラグボルト (ねじの呼び径 4.0 mm、かつ、⊕ ドライバーで締められるタイプ) をお使いください。それ以外のタイプのねじでは、取り付けできません。
- 取り付け前にプラグボルトの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認してから、下記の手順でプラグボルトを壁に取り付けてください。



① 下穴を開ける

② 内部の粉を取り除く

③ プラグボルトを挿入後、ねじを抜いて仮固定する

④ ドライバーでねじを締める

## 外壁材の種類に応じた注意事項

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

### (3) ALC（軽量気泡コンクリート）の場合

- ALC パネルの種類（厚みなど）によっては取り付けられない場合もあります。  
取り付けの前に、ALC パネルメーカーにお問い合わせください。

#### 〈取り付け可能な場合〉

- 付属のねじは使えません。
- 必ず、市販の金属製の ALC 用アンカー（ねじの呼び径 4.0 mm、かつ、⊕ ドライバーで締められるタイプ）をお使いください。それ以外のタイプのねじでは、取り付けできません。
- 取り付け前に、アンカーの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認してから、アンカーを壁に取り付けてください。
- ALC 用ドリルで下穴を開けたあとは、粉を取り除いてください。
- 下穴の周囲部を防水シール材（市販品）で防水処理をしてください。

### (4) その他の壁（モルタル・タイル材など）

- 付属のねじは使えません。  
住宅会社または工務店にお問い合わせのうえ、適切なねじやアンカー使って取り付けてください。
- 石こうボード、コンクリートブロック、屋外に露出した木材などには設置できません。

#### 外壁材の種類に応じた注意事項

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ


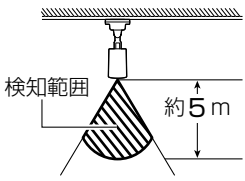
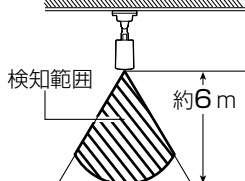
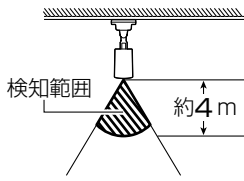

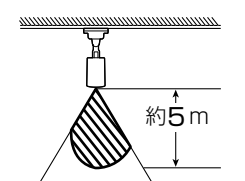
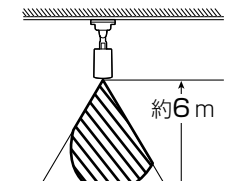
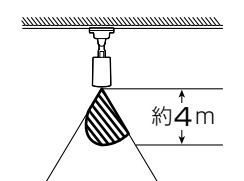

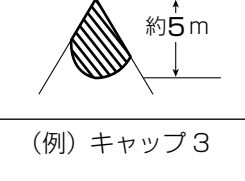
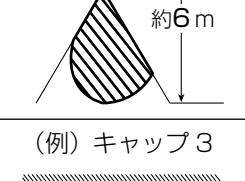
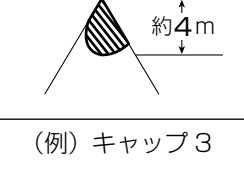

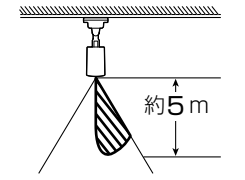
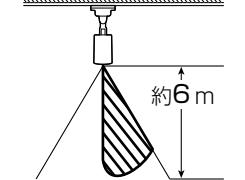
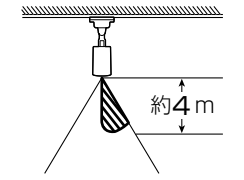
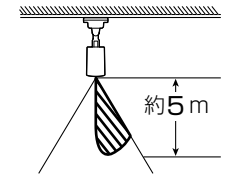
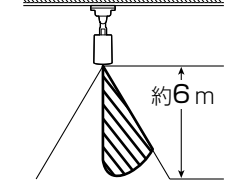
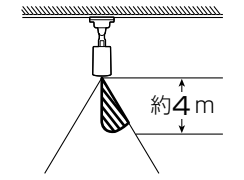

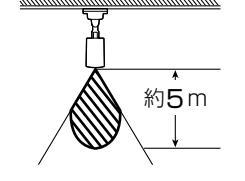
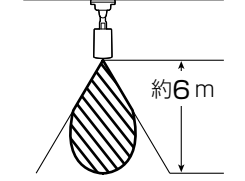
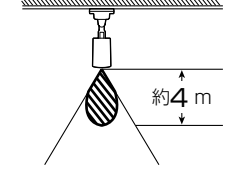
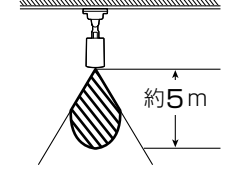
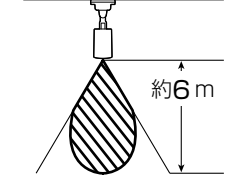
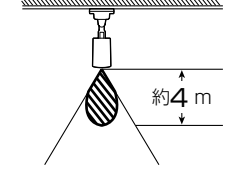
## センサー感度／検知範囲の調整方法

### 人感（熱）センサーの場合

#### ■ センサー範囲調整キャップを使う

付属している4種類のキャップ（1～4）を使って人感（熱）センサーの検知範囲を変更できます。各キャップは、ふさぐ範囲が異なり、45度単位で回転させて取り付けることができます。下記を参照のうえ、適切なキャップを適切な向きにして取り付けてください。

- 検知範囲は、人感（熱）センサーの感度設定が「標準」の場合の目安です。（カメラ設置場所の周囲温度により変わります）

キャップの種類	検知範囲の目安（カメラを上から見た図）		
	20° のとき	0° のとき	30° のとき
標準 （本体に装着） 			
キャップ 1 	(例) キャップ 1 	(例) キャップ 1 	(例) キャップ 1 
キャップ 2 			
キャップ 3 	(例) キャップ 3 	(例) キャップ 3 	(例) キャップ 3 
片側を検知させたくないとき			
キャップ 4 			
両側を検知させたくないとき			

※ センサー範囲調整キャップを取り付ける角度に応じて、図の検知範囲も回転します

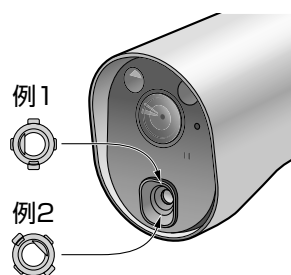
#### センサー感度／検知範囲の調整方法(人感(熱)センサーの場合)

品番 VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)

品名 センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

**例1 カメラから見て右側に、検知させたくないもの  
(隣家の壁や道路など) があるとき**

検知させたくない範囲に応じて、キャップ1～3  
のいずれかを右図の向きで取り付ける



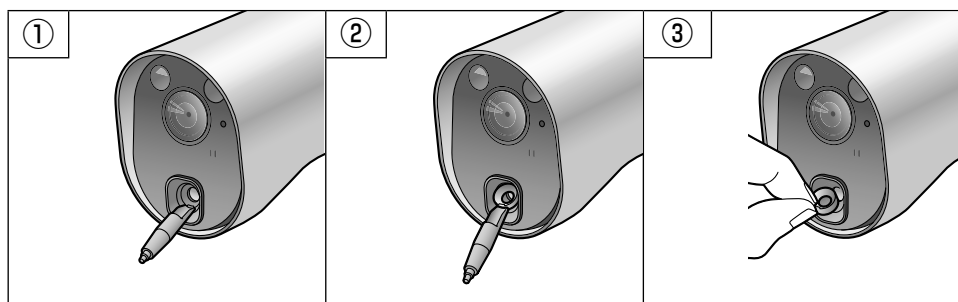
**例2 カメラから見て左上に、検知させたくないもの  
(車道の車など) があるとき**



検知させたくない範囲に応じて、  
キャップ1～3のいずれかを、  
上図の向きで取り付ける

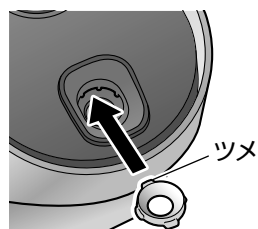
**■センサー範囲調整キャップの取り外し／取り付け**

〈取り外すとき〉 付属のへら（先が太いほう）を使って取り外してください。



〈取り付けるとき〉

キャップの種類や取り付け角度に応じて、キャップのツメを上方向または斜め45度に回転させてから、右図のようにカメラ本体に取り付けてください。

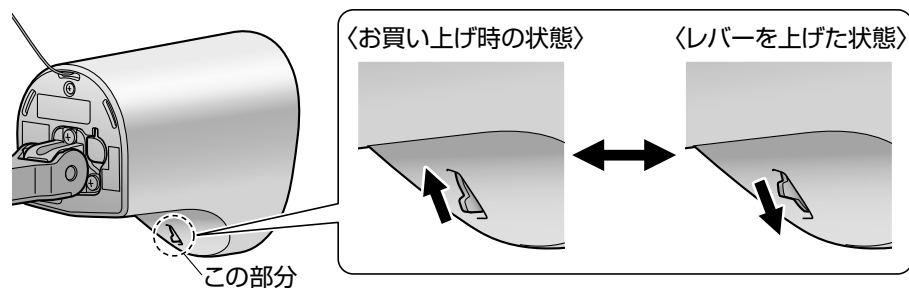


センサー感度／検知範囲の調整方法(人感(熱)センサーの場合)

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

## ■ 人感センサー可動レバーを使ってセンサーの角度を変える

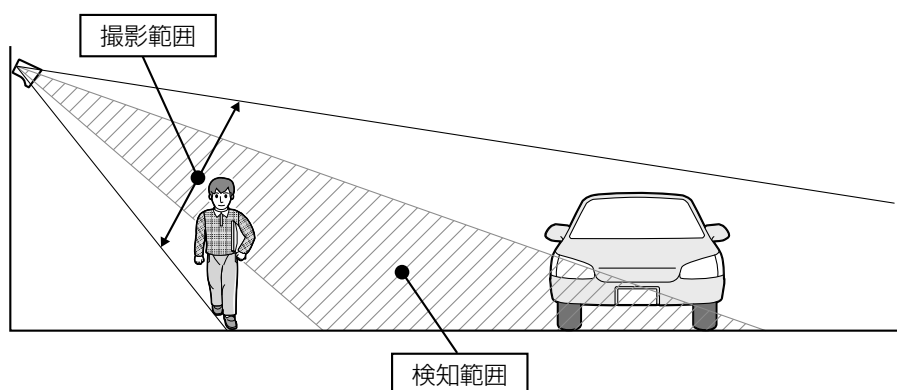
カメラ本体にある人感（熱）センサー可動レバーを使って、センサーの角度を2段階で調整できます。



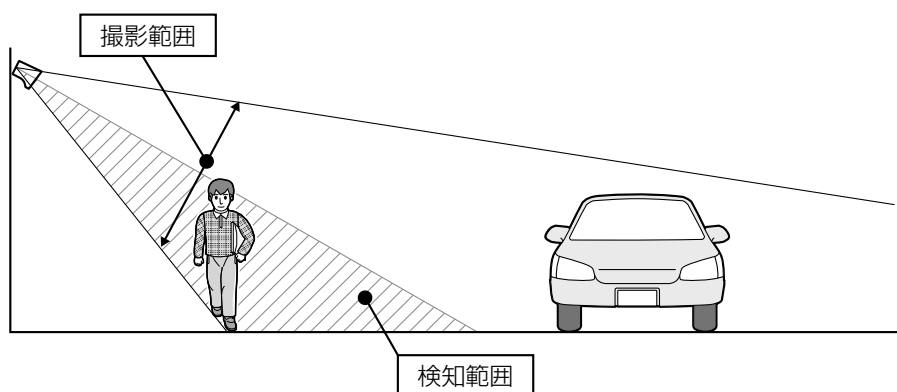
## ■ レバーの位置とセンサーの検知範囲

下記の検知範囲は目安です。（設置場所の周囲温度や環境により変わります）

### 〈お買い上げ時の状態〉



### 〈レバーを上げた状態〉



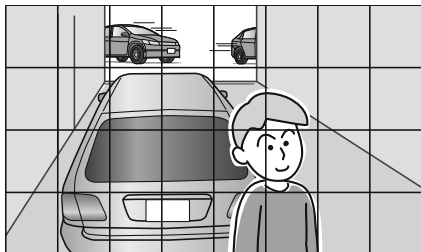
品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

## 動作検知の場合

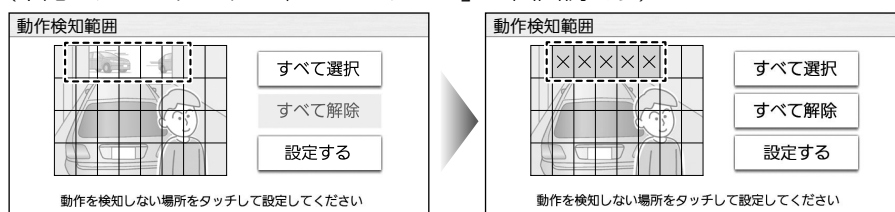
### 動作検知の検知範囲設定を変える

車道など、撮影範囲内に動作を検知したくない場所（エリア）があるとき、検知範囲の設定を変えることで、検知範囲を絞り込むことができます。

（例）画面上部に検知させたくない車道の車が映るとき



動作検知範囲の設定画面で、検知させたくない車道のエリアを選ぶ  
（下記はテレビドアホン「705 シリーズ」の画面例です）



「×」部分は動作検知されなくなる

### 設定の変えかた（例：テレビドアホン「705 シリーズ」）

ドアホン親機のトップメニューから次の手順で設定します。

- ① [設定 / 情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] → [ワイヤレスカメラ] → 設定したいカメラ番号 → [動作検知範囲] の順にタッチする
- ② 範囲の設定画面が出たら、検知させたくないエリアを選んで [設定する] をタッチする

- 設定方法は接続した機種によって異なります。接続してご使用になるドアホン親機の説明書をお読みください。

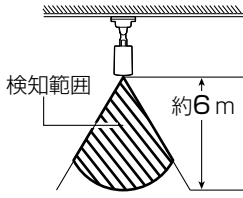
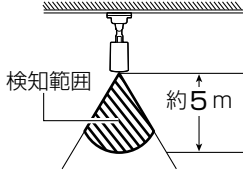
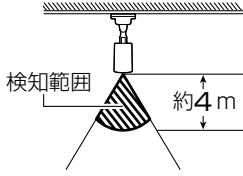
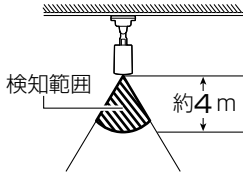
センサー感度／検知範囲の調整方法(動作検知の場合)	
品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ



## 人感（熱）センサーや動作検知の検知感度を変える

センサーが検知しすぎたり、逆に検知しにくい場合は、各センサーの感度設定を変えることで検知レベルを調整することができます。感度はセンサー別に設定できます。

- 人感（熱）センサーの場合は、感度設定に応じて検知範囲も変わります。（下記の検知範囲は周囲温度 20℃、カメラを上から見たときの目安です）

感度設定	人感（熱）センサー	動作検知
高感度	わずかな温度変化も検知するため、検知範囲が広がります。 	わずかな動きも検知します。
標準（初期値）	— 	—
低感度	「標準」時より、やや大きな温度変化のみを検知するため、検知範囲は少し狭くなります。 	「標準」時より、やや大きな動きの変化のみを検知します。
超低感度	大きな温度変化がないと検知しないため、検知範囲も狭くなります。 	大きな動きの変化がないと検知しません。

### <お知らせ>

- 人感（熱）センサーの感度を「高感度」に設定すると、風や撮影範囲外で反応しやすくなります。（設置場所の環境でやむを得ない場合のみ、この設定をご使用ください）

### 設定の変え方（例：テレビドアホン「705 シリーズ」）

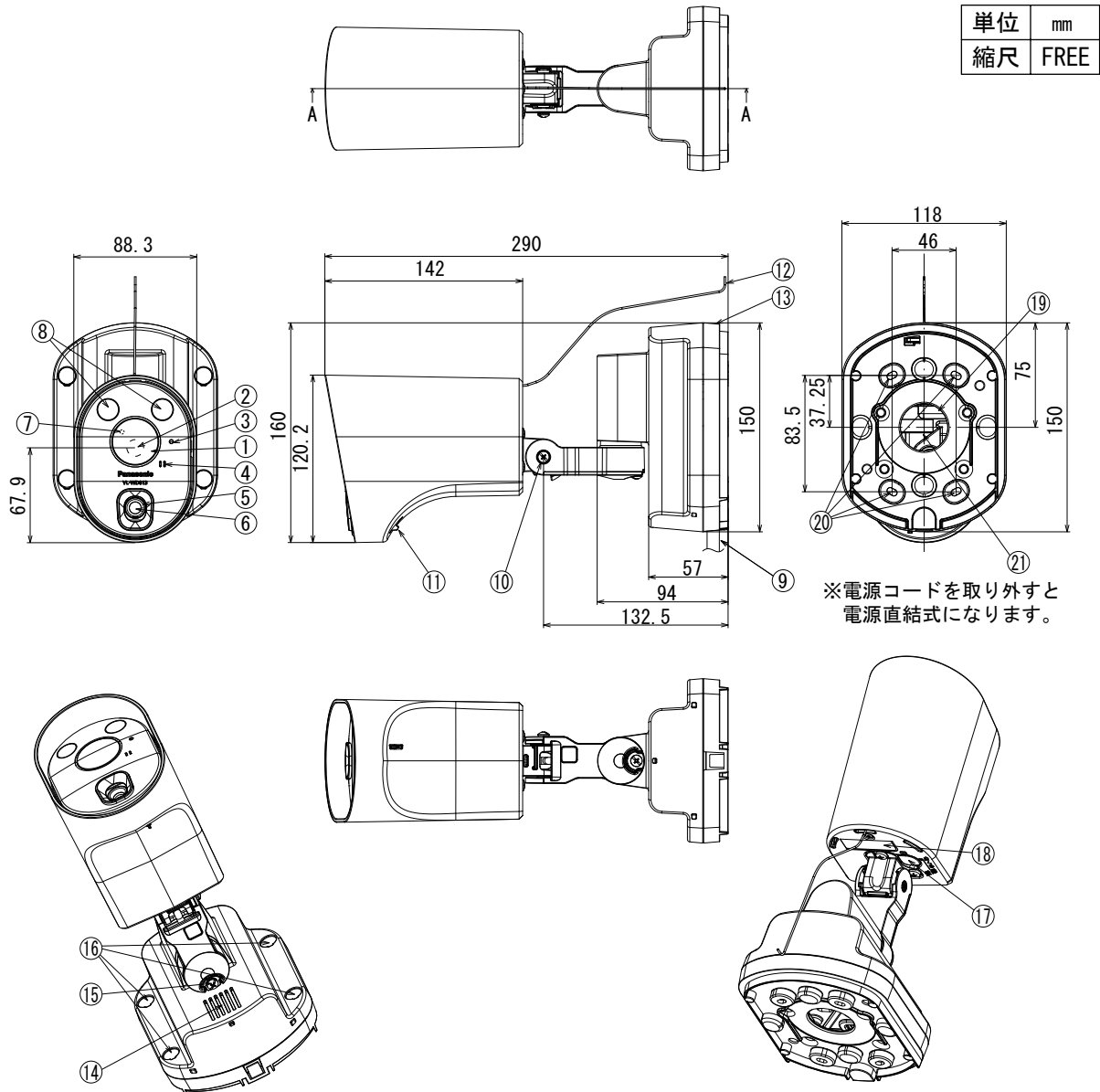
ドアホン親機のトップメニューから次の手順で設定します。

- ① [設定 / 情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] → [ワイヤレスカメラ] → 設定したいカメラ番号の順にタッチする
- ② [人感センサー感度] または [動作検知感度] をタッチする
- ③ 感度設定画面が出たら、設定したい感度を選んでタッチする

- 設定方法は接続した機種によって異なります。接続してご使用になるドアホン親機の説明書をお読みください。

センサー感度 / 検知範囲の調整方法(人感(熱)センサーの場合)	
品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

# 外形寸法図



単位	mm
縮尺	FREE

番号	名称	番号	名称	番号	名称
①	レンズカバー	⑧	LED ライト	⑮	左右方向角度固定ねじ
②	レンズ	⑨	電源コード (コード長: 5 m)	⑯	ねじ隠しカバー
③	状態表示ランプ	⑩	上下方向角度固定ねじ	⑰	登録ボタン
④	マイク	⑪	人感 (熱) センサー可動レバー	⑱	銘板
⑤	センサー範囲調整キャップ	⑫	安全ワイヤー	⑲	屋内既設 AC100V 電源線通し口
⑥	人感 (熱) センサー	⑬	スタンドベース	⑳	スタンドベース取付けねじ穴
⑦	明るさセンサー	⑭	スピーカー	㉑	シリアル No. ラベル
				㉒	

## 外形寸法図

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

## 仕様

電源	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)
消費電力 (消費電流)	待機時：約 1.4 W 動作時：約 3 W (LED ライト消灯時)、約 5 W (約 0.15A) (LED ライト点灯時)
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	約 160 × 118 × 290 (正面設置時、スタンドベース含む)
質量	VL-WD813X: 約 990 g VL-WD813K: 約 1550 g (電源コードを含む)、約 990 g (電源コードを除く)
取付方法	付属のスタンドベースを使用
外観色調	ステンシルバー
外観材質	PC+ABS 樹脂、アルミニウム
使用環境条件	周囲温度：- 10 °C ~ + 50 °C 湿度：20 % ~ 90 %以下 (結露なきこと)
通信可能距離	約 100 m (ドアホン親機との見通し距離)
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
撮像素子	CMOS 30 万画素
出力映像	テレビドアホン「302/303/501 シリーズ」に接続時： JPEG QVGA(320 × 240) 1fps テレビドアホン「705 シリーズ」に接続時： H.264 VGA(640 × 480) 最大 3fps、QVGA (320×240) 最大 6fps
最低被写体照度	1 ルクス*1
焦点距離	固定 (約 0.5 m ~ ∞)
撮影範囲 (カメラ角度)	水平：約 70°、垂直：約 53°
センサー検知方式	焦電型赤外線センサー (人感 (熱) センサー) および動作検知
センサー検知範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>人感 (熱) センサー (周囲温度：約 20 °C のとき) 水平：約 63°、垂直：約 20°、検知距離：約 5 m</li> <li>動作検知 水平：約 70°、垂直：約 53°</li> </ul>
LED ライト	白色 LED 2 個*2
防塵・防水性	IP 54*3
取付角度調整	水平：約 ± 90°、垂直：正面 ~ 下方向へ約 60° (取り付け時に設定可)
人感 (熱) センサー	2 段階で手動調整可能

※ 1 カメラの「明るさ」設定を最も明るいレベルにしたときに、被写体の有無が確認できるレベル

※ 2 正面 3 m で約 5 ルクス

※ 3 防塵性規格等級 5：機器の所定動作および安全性を阻害する塵埃は入らないレベル

防水性規格等級 4：あらゆる方向からの飛まつによる水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

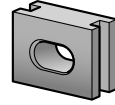
## 仕様

品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

## 付属品

ご確認のうえ、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

- スタンドベース..... 1     防水キャップ (VL-WD813K のみ)..... 1

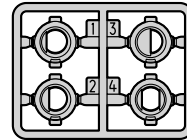


既設配線用

- ねじ A (4 mm × 25 mm)..... 4     センサー範囲調整キャップ ..... 1 式  
先端が尖ったねじ



本体と  
スタンドベース  
取り付け用



人感 (熱)  
センサー  
取り付け用

- ねじ B (4 mm × 20 mm)..... 4     へら..... 1  
先端が尖っていないねじ



本体とスタンド  
ベース取付用

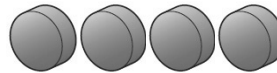


本体装着の  
センサー範囲  
調整キャップ  
取り外し用

- ねじ C (4 mm × 25 mm) ・ワッシャー..... 各 1     ねじ隠しカバー..... 4  
先端が尖ったねじ



安全ワイヤーの  
壁固定用

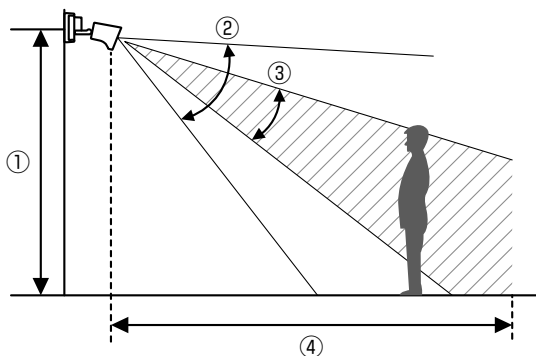


- へら、および使わなかったセンサー範囲調整キャップは、再調整のときのために、大切に保管してください。

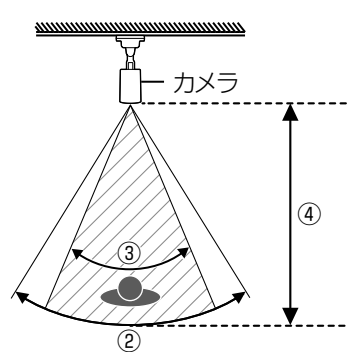
## ワイヤレスセンサーカメラ 検知範囲と撮影範囲

- 撮影範囲内に通行中の車、給湯器、エアコンの室外機、風で揺れる木、自動で点灯する照明などがあると誤発報の原因になる場合があります。センサーの誤報が発生しやすい場所を避けて設置ください。
- センサー検知帯を横切る向きの動きは検知しやすく、検知帯を横切らない正面からの動きは検知しにくくなります。

【横から見たとき】



【上から見たとき】



- ① 取り付け高さの目安：2.5 m ～ 3 m  
3 m より高い位置に設置すると、十分なセンサー検知性能を得られない可能性があります。
- ② 撮影範囲 (動作検知範囲)：垂直 約 53°、水平 約 70°
- ③ 人感 (熱) センサー検知範囲：垂直 約 20°、水平 約 63° (周囲温度が約 20°C のとき ※1)
- ④ 人感 (熱センサー) の検知可能距離：約 5 m (周囲温度が約 20°C のとき ※1)  
カメラ正面での距離です。上側・下側・左側・右側では短くなります。

※ 1 人感 (熱) センサーの検知範囲や検知可能距離は、周囲温度によって変わります。

付属品/ワイヤレスセンサーカメラ 検知範囲と撮影範囲	
品番	VL-WD813X(電源直結式)/VL-WD813K(電源コード式)
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ